



# まなびやまと

No.27

平成 27(2015)年 3月  
大和市教育委員会



## タブレットPCが やってきた

大和市教育委員会教育研究所

大和市教育委員会では、平成26年度、市立小学校全19校、中学校全9校、院内学級および教育支援教室にタブレットPCを導入しました。PC教室等に41台から82台のタブレットPCが配置されました。これまではPC教室だけでしかPCの利用はできませんでしたが、タブレットPCになったことにより、教室や体育館、屋外の授業でも活用することができるようになりました。

タブレットPCの導入に伴い、中小学校の教職員を対象に、教育研究所では導入校を会場とした、導入時研修を行っています。研修は①PC教室でのタブレットPCの利用方法 ②普通教室でのタブレットPCの利用方法の2回に分けています。参加した教職員たちは、タブレットPCに興味を抱きつつ、実際に授業で使う場面を思い浮かべながら、研修を受けていました。

研修後は、さっそく授業で活用されています。



ます。生活科の授業では町探検で、お店で働く人のインタビュー動画を撮影し、授業の振り返りに使用しています。理科の授業では、実験の様子を撮影し、まとめの発表を行っています。体育の授業では、マツト運動で演技を撮影し合い、自分の動きを確認しています。今後も、各学校で工夫して活用されることが期待できます。



また、市内全小中学校の特別支援学級にも、多用途なアプリケーションソフト(アプリ)の入ったタブレットPCを整備しました。児童生徒の障がいや学習の状況に応じた学習支援に役立っています。文字を書くことが苦手な子どもには、指でなぞり書きのできるアプリを、発音が苦手な子どもには、選んだ文字や絵から、読みが出るアプリを、図形認識が苦手な子には、文字や絵を合わせるアプリを、というように、それぞれの特性に応じたアプリを使用することができます。各学校で、PC教室のタブレットPCと同様に、導入時研修も行いました。

教育研究所では、今後も各学校でのタブレットPCを有効に活用した学習を推進できるように支援していきます。

## 心のスキルアップ

大和市立引地台中学校

9月26日(金)、引地台中学校2年生は、道徳で認知行動療法を用いた、「心のスキルアップ教育」の授業を行いました。これは、人間関係が上手に築けるように、心を安定させる気持ちのコントロールの仕方やコミュニケーションスキルを身に付けることをねらいとし、1年生から3年生まで各学年が、年間10回取り組んでいるものです。

この日は、「怒り」の感情を分析することを通して、気持ちをコントロールする方法を学びました。生徒は「どのような場面であらうのか」などに、過去に経験した怒りを分析していました。「しつこくちょっかいは出された」「部活でがんばろうと思っていたとき、やる気が感じられない人がいた」といった友だちの発言を、うなづきながら聞いている生徒の姿が見られました。

担当教員は、「メールなどではなく、お互いが顔を合わせて、思っていることを直接話す機会を大切にしたい」「友だちと教師とのやり取りを聞くことから、友だちの気持ちを理解することができるようだ」と、授業の良さを語っていました。





## 私たちの一曲を奏でよう

～校内音楽会～  
大和市立中央林間小学校

11月21日(金)、中央林間小学校で、校内音楽会が行われました。これは、日頃の音楽活動の発表や鑑賞の場をつくることで、学級、学年、全校が美しい音を求め、集団として協力し合い、努力し合つ心を養うため、毎年行われているものです。各学年がそれぞれ合唱と合奏に取り組んでいました。

司会・進行は音楽委員会が行いました。音楽委員会の児童による始めの言葉、全校合唱「BELIEVE」から音楽会が始まりました。トップバッターは3年生で、緊張しながらも、体でリズムをとり、素敵な歌声を聞かせてくれました。また、3年生で初めて取り組んだリコーダーによる「どうぶつのもりメドレー」の合奏も行いました。

その後、1年生、5年生、2年生、4年生、6年生の順番に発表が続きました。1年生は、初めての音楽会



を楽しみながら、元気いっぱいな歌声を聞かせてくれました。5年生は、高学年らしい音の広がりのある合唱、



2年生は鍵盤ハーモニカを使った美しい合奏、4年生は踊りを取り入れた楽しい合奏と、それぞれの学年の特色ある発表となりました。6年生は、最高学年らしい、迫力のある「寒ブリのうた」の合唱と、「アナと雪の女王」の合奏でした。下級生たちは、その力強い歌声と、きれいな音色の合奏に聞き入っていました。全校合奏では、音楽委員会の児童の指揮による「さんぽ」を、全員で心を合わせて楽しそうに演奏していました。最後に、西山校長は「これから音楽を楽しむ気持ちを忘れずに、合唱・合奏に取り組んでいきましょう」と全児童に向け話していました。音楽会が終わった後、1年生の児童は「自分たちの歌をほめられて、すごく嬉しかったです」と感想を話していました。また、6年生の児童は「6年間、積み重ねてきたことが発揮でき、今までの努力が見せられたと思います」「音楽の力はすごい

なと感じました」と話していました。児童の音楽への気持ちの高まりと、友だちと協力することの大切さを学ぶことができた音楽会でした。

## シェイクアウト訓練

大和市立上和田小学校

9月1日(月)、上和田小学校で、かながわシェイクアウト訓練が行われました。シェイクアウト訓練とは、「いつせい防災行動訓練」のことで、事前登録した団体などが、特定の時間に一斉に行う防災訓練です。地震の際の安全確保行動である「まず低く、頭を守り、動かない」を身に付けます。今年度のかながわシェイクアウトは、防災の日である9月1日午前11時を基本に、8月1日～9月30日の間の可能な日で実施されました。

上和田小学校では、事前学習を行い、地震に関する知識、身の回りの環境、安全確保行動について自分で考えるとともに、当日実施する訓練内容について自分たちで計画を立てました。訓練当日は、放送



に合わせ、体を低くし、机の下にもぐって頭を守り、揺れがおさまるまで1分間動かないという訓練を行いました。

6年生は、体育館で体育の授業中でした。頭を守る机がないため、電灯など天井からの落下が予測される場所をさけて、体を低くするように気を付けていました。友だち同士で「もう少し右」など声を掛け合いながら、確認した場所で姿勢を低くし、両手で頭を守り、1分間その体勢を維持しました。

訓練を終えた児童の感想には、「とにかく頭を守ろうと思った。みんなが動かず、約束を守っていたので、心強かった」「事前に話し合っていたし、練習もしていたから、いざ本番になっても何をすればいいか、すぐに分かった。事前の話し合いをやっておいてよかった。もし一人で地震にあっても、何とか自分で判断しようと思った」などがありました。担当した教員は「大がかりでなくても小さな訓練を繰り返し行うことが大切。子どもへの意識付けができる」と訓練の効果を語っていました。



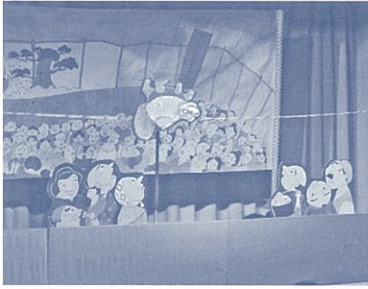


## 本の世界を楽しもう

大和市立草柳小学校

10月9日(木)、草柳小学校では、全校児童を対象に、お楽しみ会が開かれました。これは、PTAの読み聞かせボランティア「たからばこ」が行う人形劇です。読み聞かせ活動の一環として行われ、児童の読書に対する関心を高めることを目的としています。読み聞かせボランティアの活動は今年で17年目、お楽しみ会の活動は12年目になります。上演する演目は、西洋の昔話、日本の昔話を隔年で行っています。長いお話の内容を、原作に忠実に、かつ20分という限られた時間で伝えるようにシナリオを考えることが大変だそうです。

この日の演目は、日本の昔話である「ぶんぶくちやがま」でした。20分休みに1、3、5年生、昼休みに2、4、6年生を対象に2回公演しました。休み時間になると、児童が次々と集まって来て、低学年が前列、高学年が後列に座ると、あっという間に会場の視聴覚室がいつぱ



いになりました。

ボランティアの保護者が、この日のために作製してきた人形やセットを使い、さらに

音響機器を取り入れた本格的な演出の中で、人形劇が上演されました。参加した児童は語りに耳を傾け、人形の動きに笑い声や驚きの声をあげ、楽しそうに「ぶんぶくちやがま」の人形劇を鑑賞していました。人形劇の最後には、鑑賞した児童にお土産として、手作りのワッペンが配られました。



参加した児童は、「お母さんたちの話し方がすごかった」「おもしろかった。来年も見てみたい」などの感想を話していました。読み聞かせボランティアの保護者は「子どもたちが真剣に聞いてくれてとてもうれしい」「子どもたちのリアクションが、大人の予想とちがうところで起くるので、とても楽しい」と語っていました。

今回上演した人形劇のセットや人形は図書室に展示され、児童の読書への興味付けに役立てるといふことです。

## 大和市子ども読書フォーラム

大和市教育委員会指導室  
大和市立図書館

11月1日(土)、第3回大和市子ども読書フォーラムが保健福祉センターで開催されました。大和市における読書活動推進の取組みを市内に周知するとともに、子どもの読書活動について理解を深めることで、学校・家庭・地域が連携して読書活動の推進を行うことを目的としています。

第1部では、大和市子ども読書感想文コンクールの表彰式が行われました。市内の小中学生の応募作品から優秀賞に選ばれた16名が表彰されました。さらに、その中から2作品が、受賞者により朗読されました。

第2部では、「本の魅力、本の力を語る」という演題で、親子読書地域文庫全国連絡会代表の広瀬恒子さんの講演会が行われました。

第3部では、読書に関する活動の報告として、市立図書館関係者(地域お話の会)の取組み、深見小読書朝会の取組み、柳橋小学校、光丘中学校による学校図書館での取組みが発表されました。

子どもたちの読書活動推進について考える良い機会となりました。



## 不登校を考えるフォーラム

大和市教育委員会

1月31日(土)、不登校を考えるフォーラムが、渋谷学習センター会場で開催されました。不登校のことで悩んでいる児童生徒、保護者、教員、不登校に関心のある地域の方を対象に、不登校について理解を深めることを目的としています。

まず、「不登校子どもたちの可能性を信じて」という演題で、日本社会事業大学大学院特任教授・日本スクールソーシャルワーク協会名誉会長の山下英三郎さんの講演が行われました。山下さんは、不登校児童生徒の現状を自身の体験をもとにお話されました。

講演の後に、参加者が8グループに分かれて「サークル」というグループ協議を行いました。参加者が体験した辛かった思い出、励みになった言葉、不登校の子どもと接するにあたって大切な事などについて1人ずつ話していき、お互いの考えを共有しました。最後に、マザーテレサの「とにかく」という詩の朗読がありました。

相手を認めること、自分にできる最善をつくすことが重要であると再確認できました。





大和小学校は今年創立111年目を迎えました。児童数は989名、(1月現在)市内で2番目に児童数の多い学校です。

正門の横にある「大和市名誉の木」に選ばれた2本の大きい木に、いつも見守られ、大和小学校の子どもたちは、毎日、元気に学び、遊んでいます。

**ぎんなん活動・いちよまつり**  
 秋になると校庭のいちよの木がたわわにぎんなんを実らせません。ぎんなんを採る活動は、一時中断した時期もありましたが、今年度は低学年のぎんなん拾い、中学年の乾燥・選別、高学年の種出しなどの作業を経て、収穫したぎんなんの一部を地域の方たちにお配りしました。



種出しの様子

いちよまつりは「他学年との交流、触れ合いを通し、お互いを認め合う」などのねらいをもって、3年生以上の学年が学習してきたことを展示・発表やゲームなどの活動を通して学び合う行事です。3年生はローマ字、4、5年生は水道・消防・

環境、6年生は歴史といったテーマに沿って各クラスが工夫して発表・展示をしているので、みんなで楽しめる学習発表会になります。その後、2年生は1年生をお客さんに「ミニいちよまつり」を開催し、お兄さん、お姉さんぶりを発揮します。

**委員会・鼓笛隊**

本校の委員会活動は、6年生が中心に進めています。各委員会では、11月に「グリーンカード活動」を行っています。低学年の児童が元気に挨拶したり、上手にお礼を言ったりしている場面を見た6年生(グリーンレンジャー)が、グリーンカードを示して讚えます。また、体育委員会が「ドッジボール大会」、広報・集会委員会が「ドン・ジャンケン大会」を主催するなど、上級生として学校をリードしています。

また、5年生は1月になると鼓笛隊を編成し、6年生との引き継ぎ式を経て活動し始めます。高学年の児童は自主性を発揮し、全校のよきリーダーとして活躍しています。

**院内学級**

平成6年に、隣接する大和市立病院内で開級しました。病気やけがで入院している子どもたちのために学習を保障しています。病院内での学習は、個々に合わせて行われますが、入院中の不安がなるべく解消されるよう支援しています。

**平成27年度から、『学び・育ちの創造を目指す、新しい三学期制』を導入します**

大和市教育委員会では、平成18年度から導入してきた二学期制について、保護者・地域の方々や教職員の意見を取り入れ、検証や分析を行い、子どもの成長にとって、よりよい学期制を探ってまいりました。その結果、平成26年3月の教育委員会定例会において、「平成27年度からの三学期制導入」を決定しました。

- 【理念】**
- ① 教師が子どもと向き合う時間を大切にする教育課程の工夫
  - ② 子どもの学力や学習意欲を高めること、また、自己実現を図るために、学習や生活の様子を子どもや保護者に分かりやすく伝える工夫
  - ③ 子どもが主体的に長期休業を有効活用する工夫

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新しい三学期制	春休み	1学期		夏休み	2学期		冬休み	3学期		春休み			
	各学期の課業期間	子ども・保護者に分かりやすい 通知表			主体的な取組み 通知表			通知表					
		子どもと向き合う時間を大切にする教育課程の工夫											
		<b>基礎・基本 (知識・技能の習得) — 思考力・判断力・表現力</b> <b>言語活動の充実・主体的な学習習慣の確立</b> *上図は、反復(スパイラル)による学習をイメージしています。											
		目標・出会い 人間関係づくり				協同・思いやり 人間関係構築				信頼・感謝 人間関係確立			

「まなび やまと」は、開かれた教育行政の一環として、保護者、市民、教職員向けに、本市における各学校の教育活動や教育委員会の事業を、具体的にお知らせしようとするものです。お読みいただき、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。  
 〈お問い合わせ〉 大和市教育委員会 指導室 260-5210 教育研究所 260-5213